

第2次 南牧村緊急支援事業

新型コロナウイルスとの闘いが長期化する中、村では皆様の生活を支援し、疲弊する村内経済を地域全体で支え合うため、国の交付金を活用し、『新しい生活様式』に対応した追加の支援事業を実施します。

村民生活への支援

全世帯/全住民対象

※灯油券・商品券・マスク等は10月5日から役場職員が全世帯に配付します。
配布対象:令和2年9月30日現在、南牧村に住所がある方

●**灯油引換券(10ℓ券)を配付します** 保健福祉課(内線31)
冬季期間中のステイホームを快適に過ごして頂くため、全世帯に灯油引換券を配付します。
【1~2人世帯】200ℓ分(20枚) 【3~4人世帯】300ℓ分(30枚) 【5人以上世帯】400ℓ分(40枚)
《利用可能店舗》3店舗 ※対象店舗等は、後日配付する案内でご確認ください。
《使用期限》令和3年3月31日

●**飲食店等応援商品券(500円券)を発行します** 情報観光課(内線56)
家計への支援と村内の飲食店を応援するため、全世帯に飲食専用の商品券を配付します。
《配付金額》1世帯あたり1万円+世帯主を除く世帯員1人につき2千円を加算
《利用可能店舗》村内の飲食店等11店舗 ※対象店舗等は、後日配付する商品券の裏面でご確認ください。
《使用期限》令和3年3月31日

配付分とは別にプレミアム付商品券200%「1,000円分を500円」で販売します。
《販売場所》道の駅オアシスなんもく
《販売対象》南牧村住民 ※1回に購入できる金額は1万円まで(商品券2万円分)/1人何回でも購入できます。

●**マスク・手指消毒液を配付します** 保健福祉課(内線19)
今後の感染拡大に備え、価格高騰が続くマスク・手指消毒液を全世帯に配付します。
《配付数》【マスク】1~2人世帯:50枚 3人以上の世帯:100枚
【手指消毒液】1世帯:1本

●**自己負担なしでインフルエンザ予防接種が受けられます**
新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行を避けるため、予防接種費用を全額村で負担します。 ※詳しくは、別添案内をご覧ください。 保健福祉課(内線19)

収入が減少した小規模事業主・個人への支援

●**小規模事業主等支援事業** 情報観光課(内線56)
※対象期間・支援金額を拡大します

感染拡大により、減収となった小規模事業主等に支援金を給付します。
一定の基準以上、給料・賃金・収入が減少した個人についても対象とします。
《対象》令和2年1月から12月までの1年間または令和2年6月から12月までの連続した3ヵ月間の売上または収入が前年対比20%以上減少した方
《支給金額》50%以上の減少 事業主20万円 個人10万円
20%~50%未満の減少 事業主10万円 個人5万円
《申請受付期間》令和2年10月12日から令和3年3月19日まで ※事前に予約をお願いします。

「新しい生活様式」新たな暮らしスタイルを応援

●**出前代行サービス** 村づくり・雇用推進課(内線25)
自宅に居る時間を快適に過ごしていただくため、「出前代行サービス」を村内全域で実施します。
《実施期間》令和2年10月10日から令和3年3月31日まで ※昼食時間帯限定
《利用可能店舗》村内の飲食店4店舗 ※対象店舗・メニュー等は、後日配付される案内でご確認ください。
《利用方法》利用日前日の午後4時までに飲食店に直接電話して注文してください。
配達料無料で村内全域にお届けします。 ※飲食店等応援商品券が利用できます

「新しい生活様式」キャッシュレス決済で感染リスク軽減

●**ETC 車載器購入支援事業** 総務課(内線21)
ETC 車載器設置に係る費用を助成します。
《対象者》南牧村に住所があり、村税等の滞納がない方
《補助対象》令和2年4月1日以降に設置した ETC 車載器設置に要する費用
※取付・セットアップ費用を含む/買い替えは、対象外
《補助金額》上限3万円 1人1台分のみ(本人または同居する家族が使用する車に限る)
《申請に必要な物》はんこ、販売証明書、車検証、領収書 《申請期限》令和3年3月31日

安心・安全対策に取り組む商店等を支援

商店・飲食店対象

●**商店等感染防止対策支援事業** 保健福祉課(内線19)
商店・飲食店が取り組む感染防止対策に係る費用を助成します。
《補助対象》手指消毒液等及びレジ前・客席間におけるパーテーション設置等費用
※国県から助成を受けていないこと
《補助金額》1店舗につき上限10万円
《申請に必要な物》はんこ、領収書 《申請期限》令和3年3月31日 ※事前に相談をお願いします。

その他の対策・支援

●**役場窓口業務分散施設整備**
感染拡大時に行政機能を維持し、住民サービスを継続させるため、住民窓口業務を本庁舎と分離して行うための施設を整備します。災害時は避難所として、平常時は住民センターとして活用します。

●**医療機関・公共交通機関への事業継続支援**
感染拡大の影響で利用者が減少し、経営が悪化している下仁田厚生病院・上信電鉄(株)に対し、事業継続に必要な経費を支援し、地域住民生活に不可欠な「地域医療」と「公共の足」を守ります。

●**外出自粛で沈みがちな心と体の健康づくりを応援します**
オリンピック出場経験者等の著名人を起用した健康・運動番組をなんもくふれあいテレビで放送します。

●**公共施設・スクールバスにおける感染防止対策**
不特定多数の出入りが予想される公共施設等に空気清浄機を設置し、感染防止対策を徹底します。
道の駅の出入り口を自動ドアに改修し、接触感染のリスクを減らします。
スクールバスにアクリル板や空気清浄機を設置し、子ども達が安心して登下校できる環境を整備します。

●**花卉生産者への支援**
需要減少、価格下落により苦境に立たされている花卉生産者に流通改善に必要な保水材購入費を助成します。